

令和6年度生活体験モニターの実施にあたって

1. 経 過

上士幌町は、イムノリゾート上士幌構想を策定し、健康・環境・観光をキーワードにした魅力あるまちづくりによって、都市と農村との共生・対流による地域活性化に取り組んでいます。その具体的施策の一つとして、平成17年度に、上士幌町役場内に移住相談ワンストップ窓口を整備し、国・北海道など関係機関・団体等と連携しながら「移住定住・二地域居住事業」を実施してきています。



平成18年度からは、本町への本格的な移住定住・二地域居住のきっかけづくりを目的に、移住等希望者が町内の施設に1週間から1か月程度滞在し、生活体験をする「生活体験モニター事業」を実施しております。また、生活体験された方の中からも完全移住、二地域居住を開始しており、事業の効果も徐々に出てきています。

平成19年3月には、行政、商工会、農協等で構成する「上士幌町交流と居住を促進する会（以下、促進する会）」が発足し、上士幌町の交流・居住に関し、町のプロモーション活動や空き家調査を実施したほか、促進する会が設計した「移住定住及び二地域居住用モデルハウス」が平成20年8月に2棟建設され、現在も生活体験住居として活用しています。

なお、平成23年4月からは、二地域居住者、定住者、体験移住者など上士幌町で滞在、生活を始める人達のための総合的な案内窓口として設立した「NPO法人上士幌コンシェルジュ」が、生活体験モニターに参加する皆様のワンストップ窓口となっています。

■移住・二地域居住実績（移住ワンストップ窓口把握分） <平成17年度～>

①移住 108組220名 ②二地域居住 13組17名

■生活体験モニター受け入れ実績

H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
102名	94名	83名	151名	157名	132名	161名	68名	32名	106名
36組	36組	42組	63組	56組	56組	56組	33組	14組	41組

2. 目 的

■都会から離れて、ゆっくりと暮らしたい。

■移住を考えているが、いきなり移住するのは不安だ。

■移住先を探すのに長期滞在したい。

■完全移住まではできないが、二地域居住ができる場所を探したい。

といった、上士幌町や北海道へ移住・二地域居住を考えている方を対象に、生活体験のための住居や、必要最低限の生活備品を用意し、「生活体験モニター」を実施します。

モニター期間中、参加者へのアンケートやヒアリングなどを通して、今後展開する町の事業に役立てるとともに、参加者にとって、移住定住・二地域居住へのステップアップになるものと期待しています。

3. 実施概要

(1) 募集期間

○令和6年4月～令和7年3月（滞在期間：1週間～1ヶ月、1ヶ月～1年）

(2) 住居・生活備品

- ①短期生活体験モデルハウス 4棟（市街地：借上生活体験住宅）
- ②中長期生活体験住宅 4棟（市街地：上士幌町所有）
- ③テトラ 1棟（市街地：NPO法人上士幌コンシェルジュ所有）

○上士幌町が用意する主な生活備品

～テレビ、DVDプレーヤー、布団、冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、オーブンレンジ、ガスレンジ（またはIHヒーター）、掃除機、カーテン、テーブル、ストーブ、扇風機、ドライヤー、食器類、スポンジ・一部洗剤類 など

※必要最低限の備品であることをご了承ください。

※3組以上の布団が必要な場合は、別途料金が発生いたします。

※電話はありませんので、体験者ご自身の携帯電話をご用意ください。

【インターネット設備について】

- ①短期生活体験モデルハウス
 - ②中長期生活体験住宅（市街地）
 - ③テトラ
- すべての住宅で光回線（Wi-Fi 及び有線）利用可能
※パソコンの貸し出しは行っておりません。



(3) 費用負担

○現地までの旅費および滞在期間中の家賃、滞在費や光熱水費・管理費など実費については体験者の負担になります。

○原則、家賃、光熱水費・管理費につきましては、日割り計算いたします。

(4) 参加資格

- 1 将来、北海道への移住や二地域居住をお考えの方。
- 2 実際に上士幌町で暮らすことを想定し、町内での生活を優先していただける方。
- 3 単身または家族。親族での参加を基本とし、年齢制限はありません。
- 4 事業の趣旨に賛同し、簡単な日記の記入やインタビュー等にご協力いただける方。
- 5 ホームページへの日記及び写真の掲載、マスコミの取材等に同意いただける方。